

彼はこの道を通過することになっていた

バトンルージュ ルイジアナ州 アメリカ合衆国

1964年03月21日

1 神の御言葉を読むので、しばらく立ったままでいましょう。私は考えていました...結局のところ、その紹介の後で、私はそれを生きるために本当に現実の生活をしなければならないでしょうね。それはあなたを愛している人達です。

ルカによる福音書第19章で、この聖書の一部、つまり最初の5節だけを読みたいと思います。

さて、イエスはエリコにはいて、その町をお通りになった。

ところが、そこにザアカイという名の人がいた。この人は取税人のかしらで、金持であった。

彼は、イエスがどんな人か見たいと思っていたが、背が低かったので、群衆にさえぎられて見ることができなかった。

それでイエスを見るために、前の方に走って行って、いちじく桑の木に登った。そこを通られるところだったからである。

イエスは、その場所にこられたとき、上を見あげて言われた、「ザアカイよ、急いで下りてきなさい。きょう、あなたの家に泊まることにしているから」

そこでザアカイは急いでおりてきて、よろこんでイエスを迎え入れた。

人々はみな、これを見てつぶやき、「彼は罪人の家にはいて客となった」と言った。

ザアカイは立って主に言った、「主よ、わたしは誓って自分の財産の半分を貧民に施します。また、もしだれかから不正な取立てをしていましたら、それを四倍にして返します」。

イエスは彼に言われた、「きょう、救がこの家に来た。この人もアブラハムの子なのだから。

人の子がきたのは、失われたものを尋ね出して救うためである」。

お祈りしましょう。

2 我らの天のお父様、あなたはまだ失われているアブラハムの子たちを救おうとされていることにより、今朝あなたに感謝しています。天のお父様、私たちはあなたが私たちの謙虚な祈りを受け取り、今日ここでの集まりを祝福してくださいように祈ります。そしてそれが無駄でなりませんように又、偉大な聖霊が私たちに生き方を教えてくださいように。これを知って、私たちはいつか彼の前に立って、私たちがこの人生で何をしたかを説明しなければならないことを知っています。私たちがさらにあなたを待っている今、私たちと一緒に祝福してください。イエスの名において。アーメン。どうぞお座りください。

3 良い友の皆さん、つまりあなたが出そうとしている努力を信じ、信じる人々がいることを嬉しく思います。もし私が他の目的を持っていたとしたら、単に違うことをするために、なぜ、私は本当の罪人になるでしょう。しかし、私の目的はイエス・キリストを拡大することです。そして、あなたが神からのメッセージを持っているときに人の中にある何か:あなたは自分自身を止めることはできません、あなたの中に脈動している何かがあります、それはとにかく続きます。速度を落としたり、停止したり、開始したりすることはできません。それは止まり、始まり、そしてあなたを遅くします、ほら。それがコントロールを持っているものです。私たちの主イエスについての彼らの証言のために、これらの立派な兄弟たちに感謝します。彼らは私のことを話していませんでした。もちろん違います。彼らは彼について話していませんでした。

4 少し前にここでムーディー氏についての小さな記事を読んでいたように。シカゴが行くと言った...新聞は彼についての論説を書くつもりだった。そして、彼らはムーディー氏の話を知りたいために人々が集まった理由を見つけるために誰かを送りました。そして社説...ムーディー氏は私のようなです。彼は社説を読むのに十分な教育を受けていなかったため、彼のマネージャーはそれを読まなければなりません。ムーディー氏は以前は靴屋でした、そして彼はその時のメッセージのために神から呼ばれました。

それで、マネージャーは社説を読んで、「なぜ誰かがドワイト・ムーディーを聞きに行くのですか?」と言いました。「そもそも、彼は私が今まで見た中で最も醜い男だ」と言った。そして、「彼は頭が禿げていて、長いひげを持っている」などと言いました。そして言いました、「そして彼は話すとき泣き言を言います。

彼の文法は私が今まで聞いた中で最悪でした、そして...」ああ、それはちょうどそのように続いていました。

ムーディー氏は肩をすくめて言った、「確かに違います。彼らはキリストを見に来ます。」だから私はそれがただの答えだと思います。私たちが見たいのはキリストです。「私が持ち上げられたら、私はすべての人を私に引き寄せます。」

5 私が、この街を訪れた後、人々がどれほど素晴らしかったか、このデナムスプリングス高校または学校の講堂で私たちがここでどんなに素晴らしい会合を開いているかを見つけた後、私は人々のことを考えていました。ここにコーヒーのようなものがあります。私！量ではありません。しかし、それは品質です。それらのカップの1つにたくさん！

ここの空港に初めて着陸したとき(私を連れて来るために来ていた兄弟がここに座っていた)、そこにフランス人の少女がいたことを覚えています。私はハンバーガーと一杯のコーヒーを頼んだ。私は約38歳になるまでそれを飲んだことはありませんでした—私はもっとよく知っているべきです。しかし...そしてブラウン兄弟(彼は今朝このどこかにいると思います。彼はここに座っているはずですが)、そして彼はそれがとても好きでした。そして彼は私を手に入れました...私は7時に、と8時そして、9時に、ミニスターの朝食をとりました。あなたはそれを全部食べることができなかったので、彼らはコーヒーを注ぎ、私はそれをすすりました。そしてまず、私はそれを飲むようになりました。

それで私はこの女の子に尋ねました、私は彼女にハンバーガーと一杯のコーヒーが欲しいと言いました。彼らが小さなカップを持ってきたとき、私は思いました。彼らはこのあたりのコーヒーをしっかりと飲んでいると確信しています。」最初の飲み物、最初の飲み込み、私はあなたに言います(ああ、私の!)、私は息のために戦わなければなりませんでした。

その小さな女性は「あなたはアメリカ人に違いない」と言いました。彼女は「アメリカ人用のコーヒーを作ります。」と言いました。

6 それが私が人々を見つける方法です。多分私が今まで話した中で最大の群衆ではないかもしれませんが、本当の本物の品質です。聞いている聴衆、つまり座ってあなたの言っていることに注意を払っている人に感謝しています。それが私があなたにしてほしいことです。神の言葉によって人が言うことを調べてください。そして、それが正しくない場合、それは正しくありません。それだけです。それが神の言葉であるならば、神は約束されたので、彼の言葉を証言しなければなりません。だから、それが私たちがこれらのことを調べて見つけるのが好きな方法です。

7 さて、私は今朝、これがビジネスマンの朝食であり、私が彼らフルゴスペルビジネスマンの私が彼らのチャプターのメンバーであることを理解しました。私はこれだと思います...彼らは彼らのいくつかがここにいると言いました。それらのいくつかは出てこなかった。多分彼らはビジネスマンです。彼らは彼らがしなければならぬ彼らのビジネスを得ました。とにかく言い訳をします。それで、すでに言ったように、彼らの人々の多くはとにかくここにいました。ですから、それは非常に良いことです。

ちょっとした冗談です。私はそれを言いました、しかし多分...これはもちろん冗談を言う場所ではありませんが、ほんの少しのユーモアのセンスです。しばらく前のように話すと、人々にユーモアのセンスを取り戻すかもしれません。

8 ある時、友達と一緒に学校に通っていたのを覚えています。彼の名前はウィルマー・スナイダーです。彼の兄弟はバプテストの聖職者であり、彼はこの「アッパールーム」の「アッパールーム」のコラムに書いています。私たちは一緒に学校時代を共にしました。そして私はそのミニストリーを勉強しました、そして彼は保険代理店になりました。それで、彼はある日私の家に来て私を訪ねてきました。

さて、ここに保険代理店がいるかもしれません。今、保険については何も言っていません。私はあなたがこれについて間違っていないことを望みます、しかし私が言ったことのちょっとしたコツをつかむために...私がそれを言った方法。だから、私の兄も...プルデンシャルを持っていて、彼はプルデンシャル保険を販売しています。

9 それで、ある時私は保険会社によってちょっとしたことをされました...私はあまり知らないのではないかと思います...彼らは私にその契約内容を間違えて読んで、それは私に誤って伝えられました、そして私はただ決してそれを取り出しませんでした。

それで、ある日ウィルマーが私に会いに来て、彼は言いました...彼は「元気にしているかい、ビリー?」と言いました。

私は「元気だよ」と言いました。

「あなたが集会に出ていたと聞きました。」と言いました。私は「はい、私は集会のために外に出ています」と言いました。

私は彼にある人のことを話していました、私に言いました、「あなたは説教者だときいているけど。これらのビジネスマンの周りで何をしていますのですか?」

さて、私は「私はビジネスマンです」と言いました。

そして彼は言いました、「ああ、あなたはどんな仕事をしていますのですか?」

私は「保証業務」と言いました。そして、ほら、彼はそれを理解していませんでした。私は「保険」とは決して言いませんでした。私は「保証」と言いました。それで、「保証業務」と言いました。

彼は「ああ」と言いました、「なるほど」と。「何...どんな保険を売っていますか?」と言いました。

私は「永遠の命の保証を売ります」と言いました。そして、私はまだそれを売っています。ですから、私は...興味のある方がいらっしゃいましたら、集会の直後に、契約内容についてお話ししたいと思います。もしよろしければ。

それで彼は「永遠の命?」と言いました。「その会社について聞いたことがないと思います。」と言いました。

私は言いました「あー一度も? よく知られています。」そして彼は言いました...私は「それは古くから建てられています」と言いました。

そして彼は「本社はどこですか?」と言いました。

私は「栄光の中」と言いました。

10 ウィルマーは私に言った、「ビリー、私がやって来てあなたに保険を売ると思った」。「あなたは保険を持っていないと聞きました。」と言いました。

そして私は言いました「ああそうです 保証があります。」

そして彼は「ああ、ごめんなさい」と言いました。彼は言った、「私はあなたの兄弟を推測します、あなたは彼と一緒にそれを持っています。」

私は「いいえ、彼と一緒にではありません」と言いました。

私の妻は、まるで「まあ、あなたは物語を語っているに違いない」と言ったかのように私を見ました。彼女は私が保険を持っていないことを知っていましたが、彼女もそれを受け取りませんでした。私は「保険」ではなく「保証」と言いました。

彼は言った、「ビリー、あなたはどんな保険を持っていますか?」

私は言いました、「祝福された保証、イエスは私のものです! ああ、なんて栄光の神の前味でしょう! 私は救いの相続人であり、神から購入し、彼の霊から生まれ、彼の血で洗い流されました。」

彼は「ビリー、それはとてもいいね」と言いました。「それはとてもいいことだ」と言った。「私はそれに反対するものは何もありません。しかし、」と言いました、「あなたがいなくなったとき、それはあなたをこの墓地にここに置くことはありません。」

私は言いました 私は入ることについて心配していません。私は入ることについて心配していません。出てきています。」だから、これが私が知っている唯一のことです。それで、あなたが外に出ることに興味があるなら、それについてあなたに話しましょう。

11 今朝の聴衆を見て、私はあなたを維持するのではなく、ほんの少しだけです。そして、私は説教しようと

しているテキストを持っていたので、「まあ、私はそれをしないほうがいい」と思いました。私は何か、聖書の登場人物の小さなドラマをするつもりです。

ここで深刻な問題について考えるとき、私たちがクリスチャンとしてここに座っている間(私たちのほとんどだと思います)、これが私たちが一緒に朝食を食べるのはこれが最後になるかもしれないことを知っていましたか？ あなたはそれについて考えたことがありますか？ そして、あなたは私がここで言わなければならないどんな小さな言葉を理解していますか、神は裁きの日に私にそれに答えさせてくれるのです、分かりますか？ そして、私はここに魂を持っています—それが小さなグループであるかどうかに関係なく—それでも私は持っています...それは...私が言う言葉です、私はそこで彼らのために答えなければなりません。ですから、私たちは二度と朝食と一緒に食べることは決してないかもしれません。でもいつか一緒に夕食を食いたいのです。それが彼との最後の晩餐です。それが最初のものになります。

そして、私たちが今朝ここに座って、私がここでこれらの男性を見ているとき、彼らの何人かは勉強した偉大な牧師たち(そして私はここではただのブッシュマンとして出てきて教育を受けていません)、ここに座って説教する資格のある男性たち、そして神学の学者—私はそのような男性の前に立って話すとき自分をとても小さく感じます。しかし、それでも、私は自分が感じていることを表現しなければなりません。そして、私を立たせてこれをさせてくれた彼らの多大な感謝と親切。兄弟たち、集会に協力し、集まってくれたことに感謝しています。私はあなたを助けるためにここにいます。私は神の恵みによって、あなた方一人一人のためにできる限りのことをするつもりです。

12 そして、それが一日中終わったとき(私があなたと一緒に朝食を食べることができない場合)、それがすべて終わったとき、お互いにテーブルを横切って座っているとき—それは私が探している時間です。間違いなく、小さな涙が私たちの頬を流れ落ち、テーブルを見渡して、手でお互いを手に入れます。それは何かを意味するでしょう。働く時間があるうちに、太陽が昇っている間に働きましょう。しばらくするとダウンします。非常に低くなっています。

それから、私たちがそこに座ってお互いの手を握って少し泣いている間に、偉大な王が彼のすべての偉大なローブで出てきて、ラインに沿って降りて、私たちの目からすべての涙を拭き取り、そして言うと思います、「それはよくできています、私の善良で忠実な僕たち。天地の創られる前にあなたのために用意された主の喜びに入りなさい。」太陽が昇り、働くのに十分明るいうちに、働こうではないか。

13 さて、このこの小さなテキストはちょっとぼかしているように見えるかもしれません。しかし、私たちはこのテーマについて話します、「彼はこの道を通過しなければならない」。

それは小さな人にとってひどい夜だったに違いありません。彼はまったく眠れなかった。彼はただ転がって一晩中投げました。休みの日でした。そして、私たちは皆、それらの落ち着きのない夜が何を意味するかを知っています。あなたは眠ることができません。あなたはあなたの心に何かを持っているか、何かがあるあなたの神経をすべて動揺させています。

そして、この小さな人は、おそらくジェリコの街にいるビジネスマンでした。これは、このビジネスマンやビジネスウーマンのようなものです。そして、彼は間違いなく成長しているビジネスを持っていました。彼はすべてのクラブなどと仲良くして、教会(サンヘドリン評議会)のメンバーであり、立派な司祭を持っていました、そして彼はこの司祭を信じていました。

14 そして、この事件の奇妙なことは、彼の妻です。彼女をレベカと呼びます。彼女は間違っただけに迷っていたと彼は思った。司祭もそうしました。彼女はナザレの預言者であるはずのイエスという男に従っていました。貧しい人々である人々は、彼が預言者、または約束された救世主であると信じていました。しかし、それはサンヘドリンの資格だけを満たしていませんでした。

奇妙なことに、時々神は私たちがそれがあるべきだと思う色から物事をします。この人は、あなたが見るように、彼らの意見では、私生児として生まれました。彼の母親は彼女と彼女の夫が結婚する前に彼を出産しました。もう一つ、彼には学校教育がありませんでした。彼らは彼が学校に行ったという記録を持っていませんでした。彼は司祭ではありませんでした。彼はラビでもありませんでした。彼はちょうど彼自身のような主張をしていました。ドン兄弟が今朝とても大いに述べたように、それは方向転換の角でした。彼らはそれを認識しませんでした。それは通常そのように起こります—そのコーナータイムに来てください。

しかし、どういうわけか、彼の妻は彼が来るべき預言者であると説得され、彼女は彼に従い、彼を信じていました。そして、彼女は彼女の夫に話そうとしました、しかし、彼は彼の仕事にとっても夢中になりました、そ

して...彼は教会に属していました、それは十分ではありませんか？

15 金持ちの若い支配者のようなものです。彼は仕事もしていましたが、気づきました...彼は教会の会員でしたが、永遠の命はありませんでした。そして彼は持っていました...彼は他の人が持っていなかった何かをイエスの中に見ました。そして彼は言いました...彼に来て、彼が永遠の命を持つために何ができるか知りたいと言いました。

そしてイエスは彼に「戒めを守りなさい」と言われました。

彼は「私は若い頃からこれをやってきた」と言った。ほら、それは彼が信者であることを示していました。しかし、彼はイエスがそれらの司祭やラビにはない何かを持っていることを知っていました。そして、人がイエス・キリストと接触するとき、彼はそれとは異なります。あなたの周りに神の火花があつたとしても、一度彼に会ったとき、あなたは決して同じではありません。

16 それで、レベカはこのイエスを見つけました。そして、彼は彼女にとって、ユダヤ人が彼らの時代のために探していた約束のまさに成就でした。それで、彼がジェリコで朝食、またはある種の夕食、または何かをするつもりであるというニュースが広まりました。それで彼女はビジネスマンの夫について祈るのに忙しくなりました。どこにでももっと多くのレベカが必要です。ほら、祈りは物事を変えます。あなたがあなたの夫、またはあなたの救われていない人を神の前に置き、それから祈るなら、神は約束されたのでどこかに道を開くでしょう。

ですから、それがレベカです。...頑固な信者であり、主イエスの追随者であり、彼女はとても素晴らしくて優しい人だったに違いありません。彼女は...自分の家族に興味を持っていました。そして、それはまた、人がイエスに会い、彼を本当にあなたの心の中に見つけたなら、あなたは自分の家族だけでなく、至る所にある神の家族に興味があることを反映していると思います。彼らが彼を知っているならあなたは興味があります。そして、彼を知ることは命です。彼を知っている; みことばの読み方がわからない、または...しかし、彼が命であることを知っています。それで彼女は一生懸命祈っていました。

17 そして、その日はイエスが街に入るはずだった日に近づきました。間違いなく前日、彼女は彼の態度が変わったかどうかを見たかもしれません。それで彼女は多分「ザアカイ、朝その朝食に行くの?」と言いました。

「なぜ、まさかそんなことはありません! なぜ、そのたくさんの人々...あなたは私を期待しています...私は町で最高のレストランを持っています、そして彼らはそれをレビンスキーに持ちこたえています。[ここにレビンスキーがいないことを願っています。しかし、とにかく、他の場所に行きましたね。]そして、なぜ、私は町で最高の場所を得ました。彼らはそこでその場所を選びました、そこで彼らはこれを保持するために私の場所に来るべきです。」彼は行かなかった。

それから彼女は本当に必死に祈るようになりました。

それで、その夜、その小さな人はまったく休むことができませんでしたね。それについて何かがあります。あなたが本当に必死に何かについて祈りに行くなら、神は線の両端で働きます、見てください。彼は答えます。

18 それで、小さな人、彼はその夜考えなければならなかったに違いありません。さて、レベカは彼が預言者だと言います。今、私たちは何百年も預言者がいないことを知っているの、私はそれについて司祭に尋ねました。彼は言った、「何も意味がないだけです。もし預言者が立ち上がるとしたら、彼は教会を通して来ませんか? それは彼が来なければならない方法です。彼は私たちパリサイ人、またはサドカイ人、または私たちのグループのところに来ましょう、さもなければ彼は預言者ではないでしょう。」

あなたはその態度がまだ続いていることを知っています。だから、彼らはそれがそのように来なければならないと思います、さもなければそれは正しくありません。それで彼らは言いました...疑いはありませんが、この素晴らしい時期に...彼女はとにかくそれを信じていました、そして彼はそれを司祭と話し合っていました。

司祭は言いました。預言者の時代は何年も前のことです。私たちは法律を持っています。私たちはそれをすべて書き留めました。状況は制御されており、私たちはそれを手に入れました。そして、私たちはこれらのことを知っています。」

しかし、その後、ザアカイはそれを調べず、絶対にただ推測し、それを当然のことと見なしました(「推測する」という言葉は権限なしに冒険することです)、なぜ、彼はそれで大丈夫だと思いました。彼が教会に属している限り、彼がしなければならなかったのはそれだけです。

しかし、夜が明け始めると、彼の心に突然の欲求が起こりました。「たぶん、この人が町にいるなら、彼は二度とここにいないかもしれません。私は行って状況を調査する必要があります。自分の目で確かめてください。」

さて、それは良い考えです。自分でそれを見てください。批判しに行かないでください。みことばを取り、それによってみことばを調べてください。

それで彼女は...レベカは女性ができるように、それを説明しようとして...預言者が言ったこと、そしてモーセが彼が来たときにこの人が何であると言ったか。それで彼女はそれを彼に説明しようとしたに違いありません。しかし、それでも、司祭は彼の妻であるレベカよりもはるかに大きな影響力を持っていました。

19 それから朝が明け始めました。なぜ、その小さな仲間は……レベカ、私は彼女が想像できます、彼女が「ザアカイ、あなたは降りたくないと言うつもりですか?」と彼を殴るのを見ました。

「いいえ、私はそれとは何の関係も望んでいません。」

ご存知のように、うんざりしないでください、レベカ。時々それは良い印なのです、見てください。彼がそれについて、そして他のすべてについて話すことをとても落胆したとき、それは時々かなり良い兆候です。

それでしばらくして……レベカは眠っているように振る舞い、彼女だけが祈っていました。そして、彼女はザアカイがベッドから滑り落ちるのが本当に簡単であることに気づき、上に行って自分自身を手入れし、彼の髪をちょうどよくとかし、そして彼の最高の衣服を着ています。そして彼女は片方の目からのぞき、彼が何をしているかを見ました。彼女はその時神が祈りに答えてくださったことを知っていました。彼女は何かが起こることを知っていました。

だからザアカイはつま先立ちで出かけて、レベカに彼がどこに行くのかを知らせないのです。そして彼は抜け出し、外に出て振り返ります。

20 彼女はカーテンを上げ、彼が出て行くのを見守っています。彼女は言います、「主よ、ありがとう。今は大丈夫です」と言ってください。エリヤが言ったときのように、「雲が人間の手の大きさであることがわかります[最初の小さな証拠] ...何かが起こるのを修正しています。」

それで彼は外に出て通りを下ります。彼は言いました、「今、私は彼が南門から入ることを理解しているので、私はそこに行って立った方がいいです。」言いました、「今、私は私に場所を手に入れます、そして私はすぐそこに立ちます。そして、彼が入ってきたとき、私はその人がどれほどの預言者であるかを見るでしょう。そして、私はすぐに外に出て、彼の鼻の下に指を置き、彼に私の心の一部を与えるつもりです。」

「そして彼が来るとき、私は彼のナンセンスのすべてが私の妻を引き起こしたと彼に話すつもりです...そしてこれらの祈りの集会、そして物事、私はそれにうんざりしていて疲れています。私はするつもりです...私はこれについて何かを言うつもりです。私は彼に話します。そして、私はラビ(先生)が確かに私を背中で軽くたたいて、「ザアカイ、あなたはこの教会の良いメンバーです」と言うことを知っています。あなたは確かに立派な人だと思います。」それで彼は言いました、「私は早くそこに降ります。」

それで、彼は降りました…。

21 彼が門を1、2ブロックほど進んだら、その場所が人々でいっぱいになっているの見出しました。彼らは壁やいたるところにぶら下がっていました。どういうわけか、彼が話されたとしても、まだ彼の言うことを聞いたがっている人がいました。誰かが耳を傾けるでしょう。それで彼は言いました、「さて、どうやって彼が門に来るのを見るのですか?」聖書が彼は身長が小さいと言ったことを覚えておいてください。そして彼は「私は小さすぎる」と言いました。それで彼は「ここに、私に少し場所を与えてください」と押しのけました。

彼はまだクリスチャンではないことがわかりますね、そのように振る舞っています。クリスチャンはそのような態度を持っていませんね。

「立ち止まって。あなたは私が誰であるか知っていますか? 私はザアカイです。私はここにレストランを

所有しています。私の邪魔にならないように立ってください。」

ほら、今はクリスチャンではなく、誰もが彼がクリスチャンではないことを知っていました。たぶん彼らの何人かはレベカが祈っていることを知っていました。ええと、彼らは言いました、「まあ、あなたは後ろに立ちます。」

22 そして、彼はその群衆の中で彼に会うことは決してないだろうと知っていたので、彼は彼に自分の考えを表現することができなかつたでしょう。それで、彼は考えました。どうすればいいですか？ 多分私は家に帰って、すべての事を忘れるでしょう。」しかし、あなたはそれについて何かがあります、あなたが彼に会いたいと決心したとき、あなたが彼に会うのを妨げるものは何もないということです。私はそれが何であるかは気にしません、あなたはしつこいです。そして、ギリシャの小さな女性のように、イエスにたどり着くのに固執していました。

そして、それについて何かがあります、あなたが彼に会うつもりであると決心するときはいつでも、あなたを止めるものは何もないということです。しかし、あなたが決心したとき、悪魔はあなたを止めるためにできる限りのことをすることを覚えておいてください。彼はあなたがそれを理解するつもりはないと決心しました。あなたはそれを見るつもりはありません。彼はあなたがそれを見ないようにするために、彼ができるすべての黒いシートを投げます。

23 それで彼の最初のバリケードがすぐそこにありました。

それで、彼は始めました。「まあ、私は推測する……」と言って、向こうを見たところ、彼の競争相手の何人かが立っていました。そして彼らは...彼はそれを知っていました...教会の人々の何人か。それでそこに....彼はこのナザレのイエスが預言者であることをとても馬鹿にしていた、そしてここに彼を見ている彼のメンバーの何人かが同じグループのすぐ下に立っていました。彼はただ隠れることはできませんでした。彼は特定されました。

そしてザアカイ、あなたはすでに特定されています。ただ....ご存知のように、もしここにたまたまあったとしたら、あなたはすでにグループ内で混乱しています。だから、彼らは私たちがここにいることをすでに知っています。ですから、私たちは知り合い、お互いを知っている方がよいでしょう。

24 それで彼は「まあ、これは奇妙だ」と言いました。彼は周りを見回し、ここに立っている人を見て、そして....

結局のところ、彼らはすべてあなたのようなものです。彼らは何かを見つけないのです。男は自分が向こうのどこから来ていることを知っています。そして彼が去るとき、彼はどこかに戻ります。そして、彼はいつも自分がどこから来てどこへ行くのかを見つけるために何かを見つけようとしています。その答えを持っているのはたった一人、それが神です。すべての人はそのカーテンを見たいと思っています。そして、あなたがカーテンの向こうに何かがあるか、あなたがどこにいたか、あなたが誰であるか、そしてあなたがどこに向かっているのかをあなたに示すことができる何かを見たとき....

本は1冊しかありません...(数百万トンの)書かれているすべての文献の中で、これはあなたが誰であるか、あなたがどこから来たのか、そしてあなたがどこに行くのかを教えてください。それを行う本は他にありません—その聖書。そして、みことばは神であると聖書は言っています。

25 さて、私たちはこの人が周りにいるのを見つけます....彼は叫び、泣き、叫び、そして彼らが狂ったように振る舞っている人々の真っ只中にあることを知って恥ずかしかつたです。それで、しかし、彼はそこに座って、彼らと同一視されていました。それで彼はただ留まらなければなりませんでした。それがすべてでした。さて、彼は言いました、「まあ、もし私がここまで来たら、本当に彼を見つけるまで続けたほうがいいでしょう。」

さて、ザアカイ、それは良い考えです。あなたは朝食でここに着いたので、それでは続けましょう。私たちはすべてここまでです。

だから今、彼らと一緒にいったとき、彼が言ったことがわかりました。「今、私がここにいると、私は小さすぎるので見えません。だから、私はこの群衆から抜け出して、私が一人で立っていてコーナーに駆け下りると信じています。私を歩道の端に置いてください。そして、彼が来たら、私は通りを歩いて出て、私が彼についてどう思うかを彼に話します。私は彼に私の心の一部を与えます。」

26 それで、彼は群衆から離れて離陸して降りました。そして彼は「さて、彼はどちらに行くのだろうか」と考

えました。

さて、彼はハレルヤ通りに行きました。それが通常彼の旅のやり方です。そしてアーメンコーナーに下り、そこで曲がって食事場所に行きました。それはあなたが行くところです、あなたが知っている：ハレルヤアベニューとアーメンコーナー。その後、あなたはみことばを食べる準備ができています。

それで彼はこのコーナーに降りて、コーナーに立っていました。「今、ここには誰もいません。そして、私が...」(これはばかげているように聞こえますが、私は...ちょっと待ってください。)それで、あなたが最初に知っていることは、彼はこのコーナーに降りてきたということです。そして彼は言いました、「ここには誰もいないので、私はここに立ちます。そして、彼が来るとき、私は彼がどれほどの預言者であるかを知りたいです。私は通りを歩いて出て、彼(主)に何かを話します。」

27 だから彼はそこに立っています。彼はたまたま考え始めました。「さて、ちょっと待って。もし私がそこに小さすぎるとしたら、その群衆はおそらく彼が行くところならどこへでも行くでしょう。そして、私が彼と話すとき、誰も大声で叫びたくないのです。私は彼に言いたいので、彼は私を聞くでしょう。そして、彼らは「アーメン」、「ハレルヤ」、「神への栄光」、「主の名によって来る預言者へのホサナ」を叫びました。彼らは私を聞くことは決してないでしょう。つまり、1つだけです。私の周りには群衆がいるでしょう。そして、私は彼を見ることさえできません。」

それで彼はたまたま見ました。角に立っていたのは、古くて馴染みのあるシカモアの木でした。それは良いインディアナの木です。それで、角に立って、彼は考えました、「まあ、私がその手足でそこに上がって座ることができれば、私はそこにいるでしょう。そうすれば、彼がいつ来るかを本当に伝えることができました。」

28 それで彼は轆かれてくるのです、そして彼は小さすぎます。彼は手足に上がれなかった。それで彼は「まあ、今、私にできることは一つだけです」と言いました。そして、街のゴミ箱が隅に座っていました。それで彼は考えました。「さて、私がそのゴミ箱を手に入れて拾い上げ、ここに持っていけば、そこから木の残りの部分を手に入れることができます。それは私を助けます。」

それで彼は行きます。そして、その朝のゴミ処理はまだ来ておらず、かなり重いものでした。それで、彼は小さくて、それを拾うことができませんでした。それを行う唯一の方法は、彼の腕をその周りに巻き付けることです。そして彼は最高の衣服を着ていました。ですから、あなたがイエスに会おうとすると、常に障害があります。しかし、それは何の違ひもありませんでした。それが良い衣服であろうとなかろうと、彼はとにかくイエスに会いたかったのです。それで彼はゴミ箱の周りに腕を投げて、そこにそれを手に入れることができました。それで彼はそれをすくいました。そしてそこに彼はいたるところにゴミを持っていました。まあ、何の違ひもありませんでした—彼はとにかく彼に会いたかったのです。

それで、彼が腕を回して缶を押している間、彼は誰かが笑っているのを聞きました。そして彼は周りを見回しました、そしてそれがそこに立っているレビンスキー(彼の競争相手)でなければ、「まあ、あなたは何を知っていますか。ザッケウスは彼のレストランから新しい仕事を得ました。彼はゴミ処理のために働いています。」

ご存知のように、悪魔はあなたがイエスに会うのを防ぐために、彼ができる限りすべてをあなたのやり方で投げためるために彼が何ができるかを見たいだけです。彼は彼らが聖なるローラーの集まりであるとあなたに言うでしょう、彼は彼らが馬鹿の集まりであるとあなたに言うでしょう、彼は彼らには何も無いと言うでしょう、彼らは街の貧しいゴミだと言うでしょう-彼ができることは何でもします。しかし、あなたが彼に会うことを決心しているなら、神はあなたが彼に会う道を作ってください。それを覚えておいてください。その飢えがあなたの心に侵入し始めると、何かが起こります。何か。とにかく彼に会いに行くでしょう。

だから、それは何の違ひもありませんでした。少し古い顔が赤くなり、恥ずかしくなった。しかし、彼はとにかく缶を押して、それを手に入れて、木を輝かせました。(大丈夫ですよ?輝く?南部人は「輝く」とは何か知っています。つまり、木に登りました。)木に登りました。そして彼はそこに立ち上がって、2本の手足が一緒になって木の幹の中で出会った場所を見つけました。そしてそこで彼は座った。

さて、それは座るのに良い場所です。あなたと神、あなたの考えと彼の2つの方法が出会う場所です。それは座って考え直す良い機会です。彼についてのあなた自身の考え、そして彼の言葉が彼が何であると言っているか。あなたが彼が何であると思うか、そしてみことばが彼が何であると言っているか。その時のメッセージがあなたの思考にとって何であるか、その時のメッセージが彼の言葉にとって何であるか、それが違

いです。そこに座って、しばらく考えてみてください。

29 間違いなく、サタンは片方の肩に乗りました。言いました、「あなたは何を知っていますか？ あなたはかわいらしい光景で、ここに座って手から破片を拾っています。そして、あなたの最高の衣服を着て、それをすべて...それ全体にゴミを。そして今、あなたの名前は街中に公開されます。ここに座って、あなたがやったことを無茶苦茶に見ているので、冗談はすべてあなたにあるでしょう。」ほら、サタン...あなたがスタートを切ると、彼はあなたが間違いを犯したとあなたに伝えようとしています。

そこで彼はその状態で座っていました。「まあ、レベカは彼が預言者だと言った。私は彼に裁判をします。彼が預言者かどうかを確認します。」さて、彼は言いました。「彼がここに来るとき、私はただ変装します、そして彼は私がここにいることを決して知りません。まず、彼を見てみましょう。そして、私が彼に会ったとき、私はこの木から飛び降りるつもりです。そして、私はそこに行って彼に話します。さて、」と言いました、「もし彼が...もし彼が預言者であるなら、レベカが彼がそうだったと言ったように、もしそれが本当なら、彼は私がこの木の上にいることを知っているかもしれません。だから私はあなたに言います、私は彼を直します。」

それで彼は彼の周りのすべての葉を引っ張って、彼が全体に変装したので、彼は見えませんでした、そして彼が角を曲がったときに彼を見るために一枚の葉を残しました。

30 そして、それを考えながらそこに座っていると、しばらくすると彼は角を曲がったところで音がするのを聞いた。不思議です。彼がどこにいても常にたくさんの騒音があります。あなたは騒音が生命のしるしであることを知っています。大祭司が服を着て最も神聖な聖地に入ったとき、衣服の端にザクロと鐘があったことを覚えておいてください。そして、最も神聖な聖地でのその騒音は、ウェイターが彼が活着しているかどうかを知る唯一の方法でした。音がした。そして、ノイズがないとき、彼は死んでいる可能性があります。

それが今日の私たちの教会にとって非常に重要なことだと思います。それについての十分なノイズ、十分な熱意、十分な何かがありません！

ですから、イエスがいるところにはいつも騒がしいのです。ある時、彼がエルサレムに来たとき、彼らは叫び声を上げ、「主の名によって来る王へのホサナ」と叫びました。

そして、そこに立っている司祭の何人かは、「なぜ、彼らをじっとさせ、彼らの平和を保ちなさい」と言いました。

彼は、「彼らが彼らの平和を保つならば、岩は叫ぶでしょう」と言いました。彼が周りにいるとき(気づき、そして彼を信じる人々)、何かが動かなければなりません。

31 そして、彼はこの音が角を曲がって来て、叫び続けているのを聞いたので、「まあ、彼は近づいているに違いない」と思いました。それで彼は葉を引き上げ、見上げるために立ち上がった。「今、私は彼をすべて持っています。彼がどれほどの預言者であるかを調べます。」それで、彼が葉を上にしてそこに座っていたとき、彼らは木の下を通り過ぎる彼らの頭の上にこの木の道を見上げていました。

それで彼が気づいたとき...角を曲がった最初の人使徒ペテロだったに違いありません、なぜなら彼は大きくて、強くて、たくましい種類の人だったからです。彼が群衆を押し戻しているのが見えます。「友達、ごめんなさい。私たちのマスターは昨夜素晴らしいサービスをしました。彼から多くの美徳が失われました。あなた方全員が理解するでしょう。マスターが通り過ぎることができるようにあなたはただ脇に立っていませんか？ それをしてください。」

そして、ここにマタイ、マルコ、そして彼らが一緒に来ます。「今、私たちは...失礼になりたくありません。私たちはその目的のためにここにいるのではありません。しかし、私たちの先生はひどく疲れていて、彼は朝食を食べていません。ですから、私たちは...あなたがそうするなら、私たちはあなたに脇に立って欲しいのです。」

32 そこに立っている男がいました、多分ザアカイが見たのでしょう。その数日前、ある事業所での集会のある時、医者がそこにいて、本当に熱にうんざりしている小さな女の子がいるこの小さな仲間に話しました...そして彼女は生きるつもりはありませんでした。彼は彼女のためにできることはすべてやったと言った。

そしてザアカイは、葉を上げて見たとき、この毛布に包まれたこの赤ちゃんを連れたこの男が角を曲がってくるのを見ました。彼は、「あのいわゆる預言者に従おうとして、その父親が何と無謀なことをするだろう

か」と考えました。ここで彼はこの赤ちゃんと一緒に角を曲がり、熱を持ってこの風の中で際立っています。」

しかし、ザアカイと同じように、あなたが本当に信じているとき、あなたを妨げるものは何ともありません。彼はその赤ん坊を彼に連れて行きたかったのです。そして、彼らがコーナーを作ったり、変更を加えたりするたびに、彼は押し戻されていました。しかし、彼は不屈です。彼は続いていた。ついにこのコーナーで、小さな母親は赤ちゃんを抱いて走り出しました。そして、彼女は倒れたに違いありません。そして彼女は、「主よ、私の子供を憐れんでください」と言いました。そして、そこには赤ちゃんの父親が立っていて、泣いていました。それはザアカイの友人でした。

彼は「何が彼の態度を変えたのですか?」と言いました。それで彼はその男がまだ誰であるかを知ることができませんでした。彼は群衆の中にいました。

彼は一斉に手を伸ばしているのを見て、この小さな毛布の上に触れます。そして、少女は包みを解かれ、通りをスキップして行きました。(さて、それには何かがあるはずですが、ザアカイ。)

33 ついに彼が見えてきました。そして、彼を一目見ただけで、ザアカイは彼の意見を変えました。彼を一瞥しただけでした。彼はそこにいました。彼は人間のようには見えませんでした。彼には何か違うことがありました。柔和で、優しく、親切。それでも、もし彼が話せば、世界は終わりを迎えるような気がしました。彼は思っていたものとは違う性格でした。彼の態度は始まりました....彼が彼を見たとき、彼のでんぷんはすべて洗い流され始めました。通りを歩いて来る....彼はこの小さな葉の上で、何が起こっているのかを見ていると思った....そして彼が歩いていると、彼は自分のいる場所の真下に着いた。彼は言いました、「あなたが知っている、その人は預言者である可能性があります。たぶん、レベカは正しかったのでしょうか。彼女は私よりも聖句についてもっと知っていたのかもしれない。」

それで、彼は頭を下げて、弟子たちが人々を邪魔にならないように、いつものように謙虚で穏やかに歩きました。そして、彼が木の真下に着くと、彼は立ち止まりました。ザアカイは葉を見ているようなものでした。彼は木を見上げて、「ザアカイ、降りてきなさい」と言いました。

彼は自分が木の上にいることを知っていただけでなく、自分の名前がザアカイであることも知っていました。彼は起き上がるよりも木から降りるのに苦労することがずっと少なかった。彼は彼を知っていた。奇跡は彼に行われました。

ほら、

34 彼は言いました、「主よ、私は間違っていました。私は自分が間違っていると告白する準備ができています。私が何か間違ったことをした場合、私はそれを返済します。私は自分の商品の半分を貧しい人々にあげます。」

イエスは、「今日、あなたの家に救いが来た」と言われました。

何が彼を変えましたか? 兄弟姉妹、何が変わったのですか? ちょっと考えてみてください。変化は、彼は何か本物を見たということでした。彼はなされたすべての約束を聞いていました。司祭は、偉大な預言者モーゼ、偉大なこれ、あれ、またはその他について話し、将来の偉大な何かを約束しました。しかし、今何が行われているのかを無視します。それが人間のやり方です。

彼は本物の何か、彼自身が見ることができる何かを見ました。彼に奇跡が起こったのです。彼は彼を知らなかったため、彼はその預言者でした。また、彼は木の中で彼を見たこともありませんでした。しかし、彼が木の真下に着いたとき、彼は立ち止まり、見上げて言った、「ザアカイ、降りてきなさい。今日、救いがあなたの家にやって来ました。」

35 兄弟たち、それは男性の心を変え、彼らの態度を変える本物です。時々、それは確かに、それに到達するための報道機関です。しかし、今朝、あなたがキリストに近づくならば、あなたの心の中に、「私は批判的ではないでしょう。しかし、私は聖書を研究して、彼が何であったかを見ていきます。」もし彼が今夜集会に来たら....

あなたが来る前に、彼が何であったかを勉強して見てください。彼が何であれ、彼は今日も同じでなければなりません。彼の....私が昨夜話したように(あなた方の多くがそこにいたなら、見てください)、神は彼の特徴によって彼自身を識別しますか? 彼は昨日も今日もそして永遠に同じなので、彼はいつもそのようにとどまらなければなりません。男性の心はそうです....本当の神を恐れる男性または女性、ビジネスマン、また

はそれが何であれ、彼はいつも....彼についての神への恐れがある場合、神について何かを知るために彼の心には何かがあります。

36 言いますが、ザアカイに何が起こったのかは決して話さなかった。しかし、彼はエリコの全福音ビジネスマンのチャプターのメンバーになります、見てください。彼についてさらにお話ししたいと思います。確かに、彼は完全な福音に他ならないでしょう。もちろん違います。イエスが説教したのはそれだけです。それで彼はそこでメンバーになります。あなたは同じメンバーでなければなりません。

さて、注目してください。しかし、彼は本物の何かを見たかったのです。そして、聖書的に特定された本物の何かを自分で見たとき、彼は準備ができていました。それは量の本物です....

37 締めくくる前のちょっとした話。ここにハンターは何人いますか？ここにいる私の兄弟たち、あなたの手を見てみましょう。ああ、私の！私は一人ではないことを知っていました。だから、私は狩りをするのが大好きで、ニューハンプシャーの北の森に登っていました。それは白い尾の鹿の家です。なんて私は彼らを狩るのが大好きなのでしょう！そして、私は毎年上がっていました。そして、私にはパート・カウルという名前のパートナーがいました。これは私が今まで狩りをした中で最高の男性の一人です。そして、私の性質はいつも森に行ってきました。私は森の中で生まれました、そして私は...ちょうどそこで育ったようです。私の回心でさえ、私からそれを奪うことは決してありませんでした。ゲームを手に入れるためではなく、ただ森の中にいるためでした。

神はそこにいると思います。彼、彼がどのように動くか、そして自然を見るために-それがどのように死に、そして沈み、そして復活で再び戻ってくるか....朝の太陽が昇り、小さな赤ちゃんが生まれました。そして、9時頃に学校に行き、10時頃に終わります。12時にそれはその強さの中にあります。午後2時に、私の年齢に近づいています。5時にそれは80歳で、死にかけています。それは下がる—それは神の目的に役立ったのです。それは死んでいません。翌朝来るでしょう。それは生、死、埋葬、復活があることを証言する神です。

それらの木がそこにあるのを見てください。昨秋、霜や他の何かが来る前に樹液が根に落ちました。それは何をしていましたか？墓に降りる。それではどうなりますか？春にまた戻ってきます。それは死んでいません。それは降りて地面に横たわり、戻ってきます。それが起きている場合、冬はそれを殺します、見てください。神は....それ自身の知性はそれをそこに送りません。それは神から与えられた道です。ですから、それは神の与えられた方法に従うだけです。つまり、降りて、冬の間隠れ、来年は新しい命で再び戻ってきます。生、死、埋葬、復活があることを証明します。どこでも同じことです、神は彼の偉大な創造物の中で彼自身を証言しています。

38 このハンターは素晴らしいショット、良いショットです。しかし、彼は私が今まで出会った中で最も残酷な男でした。彼はいつも私をからかった。彼は子鹿を撃った。さて、法律でそう言われているなら、子鹿を撃つことは間違いではありません。しかし...あなたはアブラハムが子牛を殺してそれを神に与えたことを知っています。つまり、それは性別や大きさではありませんでした。それは態度なのです。彼はそれが私を気分が悪くしたという理由だけでそれらを撃つでしょう。

そして彼はこう言います。「ああ、あなたは他の説教者と同じように心が鶏肉なのです。ビリー、もしあなたが説教者でなければ、あなたは良いハンターになるでしょう。」そして言いました、「しかし、あなたはあまりにもひどい心を持っています。それが彼らの説教者たちのやり方です。」「彼らは...彼らは鶏の心が強すぎる」と言った。

そして私は、「パート、あなたは残酷だ」と言いました。彼はとにかくトカゲのような目をしていました。そして彼は言いました....彼はそうしました—女性が彼らの目を塗ろうとするように、あなたは知っています、そのように。

彼は言いました...彼はそのように見渡して、そして彼は「あなたはただの鶏の心だ」と言いました。

それで、彼はそれらの小さな子鹿を撃ちました。そして、1つを殺し、それをそのままにして、もう1つを入手します。ただ、気分を悪くするためです。

彼は言った、「私はあなたを最近のその説教から遠ざけるでしょう。」

私は言いました「ああいやパートいいえ、いいえ。」

39 それで、ある日...私はある秋そこに行きました、そしてそれは遅れました。そして、シーズンは約1週間で、私は忙しかったです。私はインディアナ州の州のゲーム管理人で、忙しく、狩猟シーズンでした。だから私は休暇を取らなければなりませんでした。私は少し遅れて上がった。そして、もし彼らが撃たれたら、それらの白い尾の鹿! あなたはフーディーニについて、そして脱出アーティストであることについて話します。私! 彼は彼らにとってアマチュアです。そして、彼らは本当に隠れたままです。そして、それは月明かりの夜、地面に約6インチの雪があり、良い追跡でした。

それでバートは、私がいたキャビンに降りてきたとき、「ビリー、今年はあなたのために良いものを手に入れました」と言いました。

そして私は「何?」と言いました

彼のポケットに手を伸ばし、それを引き出しました。そして、彼は少し口笛を吹いた。彼はそれを吹き飛ばしました、そしてそれはちょうどその母親のために泣いている小さな子鹿のように聞こえました—小さな赤ちゃん鹿は、あなたが知っているように、その母親のために泣いています。

私は「バート、あなたはどれほど残酷になれますか?」と言いました。私は言いました、「つまり...あなたはそのようなことをしないでしょ。」

彼は言いました「ハハハ! あなたは小心者の説教者です。」

40 そして、私たちはその日狩りを続け、ジェファーソンノッチを越えました。そして、あなたは彼について心配する必要はありませんでした。彼は帰り道を見つける方法を知っていました。それで、私たちは正午頃まで登り、それから私たちは分かれて一方に行き、もう一方に行きました。そして、もし私たちが鹿を手に入れたら、彼を掛けます。そして、私たちは馬を手に入れ、彼を手に入れに行きます。

それで、私たちは... 11時ごろになりました、そして私たちはトラックさえ見ていませんでした—1つのトラックではありませんでした。すべての鹿が横になっていた。彼らはブラシの中に入り、ブラシの山の下、そしてロガーがいた木のとっぺんのところに行きます。そして、彼らは撃たれていたもので、隠れて離れていました。彼らは怖がっていました。

41 11時ごろバートは止まり、座った。中には、この建物の大きさ(おそらくこのサイズの2倍)の小さな開口部がありました。そこには小さな開口部がありました。そして彼は腰を下ろし、コートに持っていたサーモスを手に入れるために戻ってきました。私たちは通常サーモスを持っていますが、燃料が入っているのでホットチョコレートを持っています。そして、サンドイッチを持って、それから私たちは分離します。

私たちは材木に向かって高く上がっていたので、多分、バートが彼のサンドイッチを持っているだろうと思いました。それで彼は座ってこのサーモス(水筒)を引き出しました(そして私は彼がそれを引き出すつもりだったと思いました)。そして、私はちょうど私の銃を木に向けて置き、私の後に始めました。しかし、彼が何であったか、彼はその小さな古い笛を鳴らしていました。

それで、彼がこの小さな笛を出したとき、彼はそれを吹きました。そして、誰かが小さな古い子鹿の鳴き声を聞いたことがありますか? とにかく、それは一種の哀れなことです。そして、彼がその笛を吹いたとき、驚いたことに、彼の真向かいに大きな大きな母親が立ち上がった。今、雌鹿は母鹿です。それで彼女は立ち上がった。彼女の大きな茶色の目がありました、これらの大きな耳はどのように真上を向いていました。ほら、彼女の赤ちゃんは問題に陥っていました。

42 そして彼は再びそれを吹き、彼女は周りを見回しました。そして、彼女はその開口部にすぐに出て行きました。さて、鹿がそれをするのは珍しいことです—ハンターの誰もがそれを知っています—彼女はそこへ歩いて行った。彼女の大きな目が見えた。彼女は私から20ヤード以上離れていませんでした。そして、私は「ああ、バート、あなたはそれをするのはできません。そして、そのかわいそうな尊い母親を殺し、彼女は彼女の赤ん坊を探しています、そしてあなたは彼女をそのようにだましているのですか?」

そして、この笛が鳴りました、そして、彼女は...彼女はそこに出て行きました。そしてハンターは彼の30.06ライフルのレバーを上げ、それを落としました。安全をオフにして、それが銃を撃ちました。そして彼女はそれを聞いて、周りを見回してハンターを見ました。彼女の耳は真下にピークに達した。通常、彼らはいなくなっていたでしょう、そして彼女はその日のその時間にそもそもそこに出て行かなかったでしょう。

しかし、ほら、彼女は母親でした。彼女の中に何か、本物の何か、何かがありました...彼女は隠れよう

とはしていませんでした。彼女は母親でした。彼女は母親として生まれました、そして彼女の赤ちゃんは問題に陥っていました、そしてそれは彼女の興味の対象でした。

43 そして、彼はトカゲのような目で私を見上げ、ニヤリと笑いました。私は言いました「バート、それをしないでください。しないでください。」彼はただニヤリと笑い、そのライフルを持って振り向いた。

ああ、何てこと。彼は行き止まりだった。そして、そのスコープの髪が彼女の忠実で母性のある心に行くわしたとき、彼はそれを彼女を通してふっくらと吹き飛ばすだろうと私は知っていました。ほら、彼女は20ヤード立っていませんでした—大きな180粒... 180粒のキノコの弾丸—そしてそこで彼はちょうど彼女の心臓を両側からふっくらと吹き飛ばしました。私は思いました。「どうしてそんなに残酷になって、その大切な母親の心を彼女から吹き飛ばし、彼女が赤ちゃんを探しているのですか？ どうすればそれができるんだ、バート？」私は自分で考えていました。

そして今、私は彼の腕が安定しているのを見ました。私はそれを見ることはできませんでした。私はそれをするのができませんでした。私は背を向けた。私はそれを見ることはできませんでした—その本物の、忠実な母親がそこに立っていました。彼女は偽善者ではありませんでした。彼女はサイドショーのためにそれを着ているだけではありませんでした。彼女は母親でした。それが彼女がそれをしてきた理由です。死は彼女にとって何の意味もありませんでした。赤ちゃんは困っていました。彼女は自分の人生よりも自分の赤ちゃんのことを考えていました。ハンターにそれが何であれ撃たせてください。彼女の忠実な心は鼓動していた。彼女の母性、彼女の母性が呼びかけていました。彼女の赤ちゃんは泣いていた。彼女の中に何か脈動する何かがありました。それは本物でした。

そして、その残酷なハンターはどのようにしてその忠実な心を吹き飛ばすことができますか？ 見えませんでした。私は頭を向けた。「主なる神様、彼にそれをさせないでください」と私は思いました。私はこのように立っていました。聞こえませんでした...銃の発砲は聞きたくありませんでした。それは多すぎた。そして私は待っていました、そして銃は決して発砲しませんでした。そして振り返って見たところ、こんな感じでした。彼はそれをするのができませんでした。彼は振り向いて私を見ました、そしてそれらの大きな目は変わりました。涙が彼の頬を流れ落ちていた。彼は私を見て、唇が震えました。彼は雪だるまに銃を投げ、ズボンの脚をつかんで、「ビリー、もう十分だ。あなたが話しているイエスに私を導いてください。」

その雪の漂流の上で、私は彼を主イエスに導きました。なぜですか？ 彼は何か本物を見た。彼はあらゆる種類の教会に行ったことがあります。彼は着られていないものを見ました。彼は本物の何かを見ました。

44 友よ、私たちは教会の規則や教会の規則、そして神学やその他すべてを持っているかもしれませんが。しかし、本当の本物のイエスがいます。私たちが頭を下げている今、彼に目を向けましょう。頭を下げて質問したいのですが、心もお辞儀をしました。ここには何人いますか...さて、クリスチャンを公言し、そうでないあなたに(あなたが持っている職業がすべてである場合)、しかしあなたの何人がその鹿が母親であったのと同じくらいクリスチャンになりたいと思っていますかあなたの人生、またはあなたが持っている何かよりも多く見えたあなたの中でとても本物ですか？

そして、あなたはこう言うかもしれません、「ブラナム兄弟、私は教会に属しています。私はビジネスマン、実業家、あるいは主婦です。しかし、本当にその種類のクリスチャンになるために—私は全世界を脇に置いて、批判や何にでも耐えることができます—私は同じくらいになりたいです...私は私の心の中でそれと同じくらいクリスチャンになりたいです鹿は母親でした。」

今、頭を下げて目を閉じて、神の前でキリストの御名によってあなたに尋ねます、時代の終わりに、あなたはただ手を挙げていただけますか？ スペースがないので、祭壇に呼び出すことが出来ません。「ブラナム兄弟、私のために祈ってください。その鹿が母親だったので、私がクリスチャンのような種類になるように。」とってください。神はあなたを祝福します。どこにでも手渡すだけ。「私を同じくらいクリスチャンにさせてください……」

さて、ザアカイ、あなたが手を挙げたとき、それは彼があなたを見つけたことを示しています。さて、あなたは木からすぐに滑り出してみませんか？ 彼は今日あなたと夕食のために家に帰ります。彼はあなたの人生の残りの日にあなたと共にいるでしょう。

45 天のお父様、私たちは主イエス、彼の存在に感謝しています。私たちはここに男性と女性を作った何かがあることを知っています—彼らの何人かは何年もの間クリスチャンであると公言さえしていました...しか

し...ザツケウスがそうであったように、彼らが公言しているにもかかわらず彼らと呼ぶ何かが存在しました。しかし、一度キリストから触れられたら...彼らは彼らの内側の何かが彼らにそれをするように言ったという証として彼らの手を上げました。

それがイエスであることを今彼らに知らせてください。彼は今朝このように通り過ぎることになっていた、そして彼はそうしている。主よ、150人ほどの手が挙がっていたと思います。あなたが一人一人を訪問し、それが本当のクリスチャンであるという現実を彼らに与えることを祈ります。世界がどれほど私たちを落胆させようとしても、他の人たちがどれほど私たちを落胆させようとしても、そこにたどり着くのは戦いだと私たちに知らせてください。それは私たちが出さなければならない努力です。しかし、本物の、本物の何かとつながると、それは私たちを変えます。

主よ、あなたがすべての心を変え、この時に神の臨在のすべての人に聖霊を彼らの人生に入れさせ、鹿の母が母であったのと同じくらいクリスチャンになるように祈ります。彼女は母親として生まれました。そして、彼らが神の御霊から生まれ、イエス・キリストの真の追随者となることができますように。

彼らが今日彼らのいちじく桑の木から来ますように。主よ、それを認めてください。あなたが私たち一人一人と一緒に家に帰り、あなたが私たちを永遠の家に連れて来る時まで私たちと一緒にいてくださいますように。イエスの御名によってそれを尋ねるからです。アーメン。

46 本当に親切を感謝します。主はあなたを祝福します。私はあなたを遅らせ続けていました。私は10時にここを出ることになっていました。今、11時まで10分です。神がこれらのいくつかの粗雑な言葉、緊張して動揺している言葉を受け取り、あなたの心の中でそれらで養ってくれることを願っています。覚えておいてください、キリストには本物の何かがあります。神の祝福がありますように。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7